

◆清水区〓中学校などに救命
衣配布 静岡市清水区の東海大翔
洋高同窓会（有田知弘会長）は22



日、焼津市の企業から寄贈を受け
た独自開発の救命胴衣100着
を、同校中等部、清水南高中等部、
清水第五中、東海大付属幼稚園に
配布した。東海大翔洋高で贈呈式
を行い、有田会長らが4校・園の
代表者に救命胴衣を手渡した〓写
真〓。

救命胴衣を開発、寄贈したのは
焼津市の「岸萬塗装」（岸昌則代
表取締役）。昨年、東日本大震災
の被災地支援を続けた翔洋高に被
災地から救命胴衣が贈られたのを
きっかけに、同窓会は海に近い近
隣学校にも設置しようと考え、よ
り安価な製品の開発を同社に依頼
した。完成した救命胴衣「PeB
J（ペットボトルジャケット）」

は、使用済みペットボトルで浮力
を得る。ジャケットの袋状部分に
500ミリのペットボトルが最大で
14本入る。今月から千円台前半で
受注生産する予定。

各校・園は災害時の備えや、防
災教育の教材として活用する。

平成 26年 7月 24日
静岡朝日新聞